

## 第9回 SIP 自動運転 推進委員会 議事概要

1. 日 時 令和2年3月4日(水) 11:00~12:00

2. 場 所 中央合同庁舎4号館 11階 共用第1特別会議室

3. 出席者:(敬称略)

(議長) 葛巻 清吾	プログラムディレクター	
(SPD) 有本 建男	政策研究大学院大学 教授 兼 科学技術振興機構 研究開発戦略センター 上席フェロー	
(SPD) 白土 良太	日産自動車株式会社 カスタマーパフォーマンス&CAE 実験技術開発本部 シニアエンジニア	
(SPD) 杉本 洋一	株式会社本田技術研究所 先進技術研究所 安全安心領域 上席研究員	
朝倉 康夫	東京工業大学 大学院 土木・環境工学系 教授	
天野 肇	ITS Japan 専務理事	
石井 昌道	自動車ジャーナリスト	
岩貞 るみこ	自動車ジャーナリスト	
小花 貞夫	電気通信大学大学院 特任教授 兼 産学官連携センター長	
加藤 晋	産業技術総合研究所 首席研究員	
河合 英直	自動運転基準化研究所 所長 兼 自動車技術総合機構 交通安全環境研究所 自動車研究部 部長	
教野 秀樹	日本自動車部品工業会 (住友電気工業(株) 新製品企画部 技術企画部 担当主幹)	
荒巻 淳	電子情報技術産業協会	(小出構成員代理)
日笠 暁生	スズキ株式会社	(高柴構成員代理)
永井 正夫	日本自動車研究所 代表理事 研究所長	
松井 房樹	電波産業会 専務理事	
横山 利夫	株式会社本田技術研究所 オートモービルセンター 上席研究員	
平井 淳生	内閣官房 情報通信技術総合戦略室 参事官	
高水 紀美彦	警察庁 長官官房 参事官	
江原 真一郎	総務省 総合通信基盤局 新世代移動通信システム推進室	(五十嵐室長代理)
植木 健司	経済産業省 製造産業局 自動車課 ITS・自動走行推進室 室長	
安部 勝也	国土交通省 道路局 道路交通管理課 ITS推進室 室長	
平澤 崇裕	国土交通省 自動車局 技術政策課 自動運転戦略官	
道路交通ワーキング構成員(敬称略) ※第8回道路交通ワーキングと合同開催		
川端 由美	自動車ジャーナリスト	
須田 義大	東京大学生産技術研究所 機械・生体系部門 教授	
藤原 静雄	中央大学 法務研究科 教授	
山本 彰祐	株式会社ディー・エヌ・エー	(中島構成員代理)
三角 育生	内閣官房 IT 総合戦略室 副政府 CIO	

守山 宏道	内閣官房 日本経済再生総合事務局 参事官
飛田 章	内閣府 地方創生推進事務局 参事官
鷲見 徹郎	法務省 刑事局付 (大塚参事官代理)
小川 洋輔	国土交通省総合政策局 モビリティサービス推進課 課長補佐 (重田課長代理)
オブザーバー	
岡 紳一郎	日本自動車工業会 技術統括部長
梅田 学	内閣府 国際連携コーディネーター
管理法人	
林 成和	新エネルギー・産業技術総合開発機構 ロボット・AI 部 (弓取部長代理)
事務局	
十時 憲司	内閣府 大臣官房審議官(科学技術・イノベーション担当)
垣見 直彦	内閣府 政策統括官(科学技術・イノベーション担当)付 SIP 担当参事官
古賀 康之	内閣府 政策統括官(科学技術・イノベーション担当)付 自動運転リーダー
植木 健司	内閣府 政策統括官(科学技術・イノベーション担当)付 自動運転サブリーダー
田中 俊和	内閣府 政策統括官(科学技術・イノベーション担当)付 上席政策調査員

#### 4. 議題(非公開部)

- ・ガバニングボード決定について
- ・ガバニングボードからの指摘事項に対する取組方針について
- ・SIP 自動運転の実験データの利活用について
- ・国際連携の進め方について
- ・サービス実装推進 WG 構成員について
- ・SIP 自動運転 今後のスケジュール等

#### 5. 配布資料

資料5	ガバニングボード決定について	【非公開資料】
資料6	ガバニングボードからの指摘事項に対する取組方針について	【非公開資料】
資料7	SIP 自動運転—実証実験データ有効活用についての取り組み	【非公開資料】
資料8	国際連携の進め方について	【非公開資料】
資料9	サービス実装推進 WG 構成員の追加について	【非公開資料】
資料10	SIP 自動運転 今後の検討スケジュール等	【非公開資料】
参考1	SIP 自動運転 2019 年度 施策一覧	【公開資料】
参考2	SIP 自動運転 推進委員会等構成員	【公開資料】
参考3	「Society 5.0 の世界向け発信事業」について(簡略版)	【公開資料】

#### 6. 議事概要

##### 【非公開部】

##### (1) ガバニングボード決定について

- ▶ 資料5に基づき、事務局から報告された。

##### (2) ガバニングボードからの指摘事項に対する取組方針について

- ▶ 資料6に基づき、事務局から報告され、(1)、(2)両方に対し、知財権と標準化のバランスや、通信業界との連携の進め方についての議論や、社会的受容性醸成に関しては使用者・事業者のニーズやとらえ方の把握について議論がなされた。

##### (3) SIP 自動運転の実験データの利活用について

- ▶ 資料7に基づき、内閣府から報告が行われ、データの個人情報保護とデータの有用性の間での相反の可能性が議論された。

##### (4) 国際連携の進め方について

- ▶ 資料8に基づき、梅田国際連携コーディネーターより報告が行われ、連携のメリットの明確化や、標準化・研究手法の共通化等につき、議論が行われた。

##### (5) サービス実装推進 WG 構成員について

- ▶ 資料9に基づき、内閣府からサービス実装推進WGの構成員について、清水氏の参加が附議され、承認された。

##### (6) 今後のスケジュール

- ▶ 資料10に基づき、事務局から今後のスケジュールについて報告が行われた。

#### 7. その他

次回(第10回)は、6月3日(水) 10:00~11:30 @中央合同庁舎8号館6階 623会議室にて開催を予定。